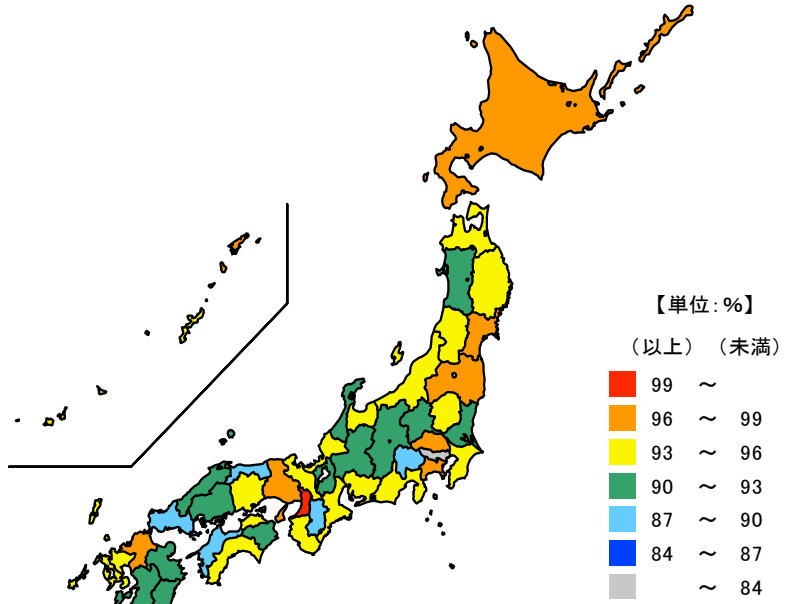


● 経常収支比率

令和4年度

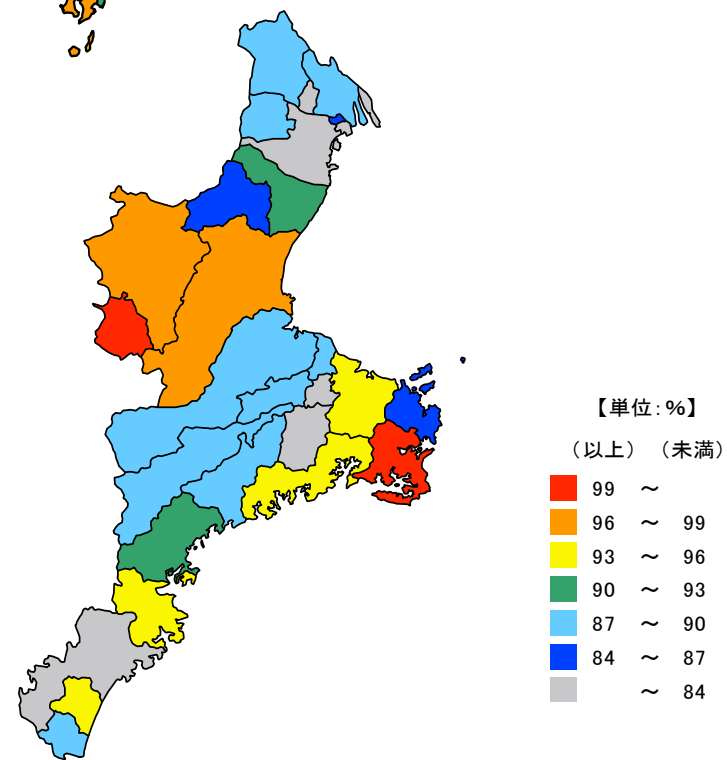
単位：％

都道府県	値	順位
平均	92.6	
大阪府	102.2	1
兵庫県	98.7	2
神奈川県	98.5	3
北海道	98.1	4
鹿児島県	97.8	5
三重県	94.3	20
山梨県	89.4	43
山口県	87.9	44
愛媛県	87.6	45
鳥取県	87.4	46
東京都	79.5	47



単位：％

市町	値	順位
志摩市	99.5	1
名張市	99.2	2
津市	97.5	3
伊賀市	97.0	4
尾鷲市	95.0	5
御浜町	94.7	6
南伊勢町	94.6	7
伊勢市	93.0	8
鈴鹿市	92.0	9
紀北町	91.8	10
桑名市	89.6	11
いなべ市	89.6	11
多気町	89.6	11
菟野町	89.5	14
明和町	89.3	15
紀宝町	89.0	16
大紀町	88.5	17
松阪市	87.0	18
大台町	87.0	18
鳥羽市	86.0	20
龜山市	85.2	21
朝日町	84.2	22
東員町	82.7	23
熊野市	82.2	24
四日市市	80.8	25
玉城町	78.7	26
川越町	74.4	27
木曾岬町	71.1	28
度会町	70.1	29
市町平均	89.8	



令和4年度の三重県の経常収支比率は94.3%で、全国順位は20位となっています。

県内市町の経常収支比率は、志摩市、名張市、津市の順に高くなっています。一方、度会町、木曾岬町等の4町が80%以下と低くなっています。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携・交通部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 経常収支比率とは、地方税、地方交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当されたものが占める割合。

財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。

都道府県の平均及び市町平均は、加重平均による。